

長生郡市次世代育成支援行動計画進捗状況について

一宮町における平成19年度中の事業実績の一部を報告します。

事業名	事業実施状況	事業の評価及び今後の対応
一時保育事業	17年度事業開始。19年度は2月末時点で延べ300名が利用している。	在宅で育児している母等の支援として定着した。
放課後児童健全育成事業	平成17年度から公設民営となり、社会福祉協議会に運営を委託し、施設1カ所、計44名	平成20年度は、分室を設け2カ所を実施していく。
通常保育事業	施設4カ所定員300人で実施している。3月末入所人員339名	現状維持。0歳から2歳の途中入所が非常に多いため保育士の配置及び保育室の工夫が必要である。
延長保育事業	一宮保育所で7時から18時半まで実施し、防犯対策のため、東浪見・原の児童を保育所バスを利用し、夕方、一宮保育所まで送り保育している。	応分負担の観点から延長保育料の徴収を検討している。
障害児保育事業	一宮保育所で3名、東浪見保育所で1名の児童の保育を実施している。一宮保育所で重度の1名に保育士を配置している。	つくも幼児教室と連携を密にし、児童の保育に努めた。今後も関係機関と連携し障害児保育を行う。
乳児保育の促進	3月末現在乳児受入数、一宮保育所3名、愛光保育園5名、管外委託1名	今後とも各園の特徴を生かし、保護者のニーズに応えていく。
児童・生徒のための放課後の居場所づくり	スポーツ少年団によりミニバス、野球を実施。	今後も放課後の居場所づくりの充実に努める。
家庭児童相談事業	月1回育児相談を実施しており、また、千葉県長生健康福祉センターの家庭児童相談員と連携をとり相談にあっている。	虐待問題とも関連がある場合も考えられるため、東上総児童相談所と連携を密にすることが必要である。
乳幼児医療費助成	平成19年4月診療分から千葉県補助金基準のほか、4歳以上未就学児の通院に対し拡大助成し、経済的支援に努めた。	引き続き助成していく。
母親父親教室の開催	医療機関での受講の有無、初産・経産婦問わず年3コース、1コース3日で実施。妊婦同士の仲間作りや母性・父性の育成のため今後も内容の充実に努めます。	妊婦同士の仲間作りの場となっている。また、父親の参加も定着し、妊婦体験ジャケット等の教材利用も父性育成に有効な様子。平成19年度より先輩ママからの体験談を話してもらっている。参加者からも好評である。今後も継続していく。

新生児・妊産婦訪問指導	新生児を持つ親が、不安や悩みなく子育てに取り組むことができるよう妊娠や新生児期の不安の多い時期に保健師による家庭訪問を実施。第1子に関わらず訪問希望者には全員実施した。	母親の育児不安の強い時期にタイムリーに関われていると思う。里帰り後に訪問を希望されて行う場合もある。今後も継続していく。
乳幼児健康相談の実施	4・7・12ヵ月児とその親を対象に育児相談、栄養相談を実施している。毎月1回実施しており、対象には通知を行っている。BCG予防接種時に希望者に体重・身長測定と育児相談を平成19年度より開始した。	平成19年度から4・7・12ヵ月児が対象となり、発達や離乳食の指導にもポイントとなる月齢でありタイムリーな対応をすることができている。問題のあるケースは、再呼び出しをして、フォローしている。母親同士の交流の場にもなっている。
子育て教室の開催	0歳児を対象に「親子ふれあい教室」を実施。親子のふれあい、交流を通し、コミュニケーションを深める場となっている。また、育児相談も座談会形式で行い、育児不安の軽減に努めている。	母親同士の良い交流の場となっている。育児相談も気軽に行え、参考になるとのこと。今後も継続していく。
保育所給食の推進	園庭で栽培した野菜（だいこん、サツマイモ）を利用した献立を実施した。	食育の推進とともに今後も実施していく。
学校給食の推進	自校方式により実施している。バランスのとれた食事の提供を行った。児童・生徒の家庭に対しても献立表や給食だよりにより情報の提供を行った。	今後も学校給食の内容の充実に努める。
性についての正しい知識・男女の相互理解の普及	思春期教室などを通じて、正しい知識の普及を行った。また、男女の相互理解・協力の推進に努めた。	今後も情報の内容、思春期教室の充実に努める。
地域医療体制の整備	小児救急体制は、24時間受け入れられる体制はまだ未整備であるが、3月末現在、長生病院は小児科医が1名と3名の非常勤医師で対応しており、日曜日、月2回、日中の小児救急を受け入れている。	二次救急拠点病院となる長生病院の、医師の確保が急務であり、その充実に図りながら、小児救急の問題も検討していく。
男女の出会いの場づくり	結婚相談事業事務局 社会福祉協議会では、相談員による個々の活動や情報交換会議、また事務局移管後、はじめての町単独パーティー等により独身者の支援をした。また、長生郡市結婚相談連絡協議会では、広域での相談員間の情報交換やふれあいパーティーを実施した。	結婚感の多様化になかなか成果が上がらないが、今後も相談員のアドバイスを重視し、出会いの場の確保・支援をしていく。（H18より社会福祉協議会にて、町補助金により事業実施）
総合的な学習充実支援事業	総合的な学習充実のため各学校に事業費を配分し、各学校ごとに特色ある学校教育の推進を図った。また、社会人講師を積極的に活用した。	今後も積極的に社会人講師を活用し、学習内容の充実に努める。
国際理解教育の拡充	中学校には外国語指導助手を配置、小学校には、非常勤講師を1名配置し、国際理解教育の推進を図った。	今後も外国語指導助手、非常勤講師を配置し学習内容の充実に努める。
障害児教育（学級）の充実	児童・生徒の障害の種類に応じて学級を設置し、特別支援教育の充実を図った。	今後も特別支援教育の充実に努める。

多様な体験活動の推進	地域住民団体「一宮ネイチャークラブ」主催による稲作体験や海岸・河川での自然観察などを実施している。平成18年度からは、自主財源で実施した。	地域住民が主催することにより、自然や環境に対する理解が深まると共に「食」や「生」を感じる貴重な体験ができた。
生徒指導、いじめ・不登校対応、問題行動及び非行の防	生徒指導連絡協議会を7回開催し、学校・関係機関等と連携を図った。	今後も関係機関と連携を図りながら、内容の充実に努める。
小児生活習慣病の予防	小学校4年生、中学校1年生を対象に小児生活習慣病予防検診を実施しており、事後指導として、各学校と連携し個別指導や、医師による講演会を開催している。また、保育所や学校関係者と小児生活習慣病予防連絡会を開催し、年度末に生活習慣病予防のパンフレットを作成して関係者に配布している。	小児生活習慣病予防だけでなく、子どもの健康全般について検討できる連絡会とし、名称は「子どもの健康づくり連絡会議」となった。
学校支援ボランティアの活用	保護者、地域の人材に広く呼びかけた。	今後、保護者、地域の人材に広く呼びかけ活用を図る。
子育て学習講座事業の推進	講演や講座を開催し、地域や仕事で子育てに関わっている住民の方を対象に実施している。	参加している保護者は、成果があるのが伝わってくるが、開催時期や、講師も検討していきたい。
家庭教育学級の開催	町内2小学校合同開催として実施した。親子で参加できる料理教室や、材料を使い笛づくり等を実施した。	参加者をもっと増やすよう開催時期や講師等を検討していきたい。
環境浄化活動の促進	警察と協力し「桃太郎おたすけ隊」によるパトロールを実施した。	今後も継続していくが、パトロール時間等の検討が必要である。
防犯灯設置の促進	町内全域において、防犯灯の新設及び移設を行った。 (新設35基・移設2基)	住民の要望に基づき、今後も計画的な防犯灯設置に努め、防犯体制の充実に努める。
民間保育サービスの活用	定員の都合で一時保育をお断りした場合に、民間の一時保育実施施設を紹介する。また、パソコン検索可能な家庭には「i子育てネット」を紹介した。	今後とも活用に努める。
自主防犯活動の促進	防災無線を活用し、児童・生徒の下校時に放送を実施。一宮地区防犯組合連合会防犯指導員を18名配置した。	今後も防犯指導員を中心に広報活動等を実施し、自主防犯活動の促進を図る。
パトロール活動の推進	児童・生徒の下校時に学校職員、PTA、ボランティアによる防犯パトロールを実施した。	今後も地域の協力のもとパトロール活動の推進に努める。
「子ども110番」等防犯ボランティア活動の支援	子どもが危険を感じた時や、困ったことが起きた時の緊急避難場所である「子ども110番」ステッカーの貼付について、地域の方々や事業所に協力を頂き防犯に努めた。	今後も「子ども110番」等を通じて地域の防犯ボランティアの拡大に努め、子ども達の安全対策を推進していく。
虐待に関する相談体制の充実	「親子ふれあい教室」で受付できるようになっている。児童虐待相談件数2件	「親子ふれあい教室」だけでなく、保健師による相談は随時受付できる体制が出来ているため、今後も継続していく。

長生郡市次世代育成支援行動計画進捗状況については、広報いちのみや9月号にも掲載しています。